

作成日 ; 2009 年 4 月 1 日
改訂日 ; 2018 年 7 月 5 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : NP シーラック
会社名 : 日本プラスター株式会社
住所 : 栃木県佐野市多田町 188-2
担当部門 : 技術部
電話番号 : 0283-62-6511
整理番号 : NP-G060
推奨用途および使用上の制限 : 建材としての使用を推奨する

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性	引火性液体	: 区分外
健康有害性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 2
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分 2

その他の危険有害性の項目については、「分類できない」または「分類対象外」のいずれか。

【GHS ラベル要素】

絵表示 :



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 臓器の障害のおそれ(呼吸器系、心臓、腎臓、中枢神経系)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(呼吸器系、中枢神経系)

注意書き

[安全対策]	粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
[応急措置]	ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。 気分が悪いときは、医師の診断・手当てを受けること。
[保管]	施錠して保管すること。
[廃棄]	内容物及び容器を国際・国・都道府県又は市町村の規則に従って 破棄すること。

GHS 分類・区分に該当しない : 発がん性区分 2 の物質成分を 0.3%未満含有する。

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：エチレン-酢酸ビニル樹脂エマルション

成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
エチレン-酢酸ビニル 共重合体	44～46	$(C_4H_6O_2 \cdot C_2H_4)_x$	(6)-6	24937-78-8
エチレングリコール	1～2	$C_2H_6O_2$	(2)-230	107-21-1
酢酸ビニル	0.3 未満	$C_4H_6O_2$	(2)-728	108-05-4
水	52～54	H_2O	-	7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合	：速やかに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	：汚染された衣服を脱ぎ、速やかに多量の水及び石鹼で洗い流す。 痛み、痒みなど皮膚に異常が生じた場合は医師の診断を受ける。
眼に入った場合	：速やかに清浄な水で 15 分間洗眼した後、直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	：無理に吐かせてはならない。水でよく口の中を洗浄した後、直ちに 医師の診断を受ける。
急性症状及び遅発性 症状の最も重要な 兆候及び症状	：不快感、頭痛、全身倦怠感を示す。
応急措置をする者の 保護	：汚染された衣服や保護具を取り除く。救助者が有害物質に触れない よう手袋等の適切な保護具を使用する。
その他の医学的アド バイスまたは治療	：特になし

5. 火災時の措置

消火剤	：粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素 砂、霧状水
使ってはならない消火剤	：特になし
特有の危険有害性	：火災によって、刺激性、有毒ガスが発生するおそれがある。
特有の消火方法	：初期の火災には、粉末、二酸化炭素などを用いる。大規模火災 の場合には、水溶性液体用泡消火薬剤などを用いて空気を遮断 することが有効である。周辺火災の場合、周囲の設備などに散 水して冷却し、移動可能な容器はすみやかに安全な場所に移す。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出し ないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	：有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は風上から行い、 空気呼吸器、化学用保護衣など適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
多量の場合、人を安全に退避させる。
漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。

環境に対する注意事項

: 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な処置を行う。漏出物を直接、河川や下水に流してはならない。
海上で薬剤を使用する場合は、運輸省令の規定に適合すること。

封じ込め及び浄化の
方法・機材

: 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウェス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
回収した漏洩物は、後で産業廃棄物として適正に処分廃棄する。
後処理として、漏洩場所は大量の水を用いて洗い流す。

二次災害の防止策

: 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護手袋・保護眼鏡・保護面を着用する。
換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

: 作業場の換気を十分に行う。
適切な保護具を着用する。スプレーミストや蒸気が発生する作業の場合は、局所排気を設置するか、フィルター付きの保護マスクを着用する。
全ての安全注意を読み、理解するまでは取り扱わない。
容器の転倒、落下、引きずるなどの取扱いをしてはならない。

本製品を使用する時に、飲食及び喫煙をしない。	
接触回避	: 火気との接触を避ける。
衛生対策	: 取扱い後はよく手を洗う。
保管	
安全な保管条件	: 直射日光や高温多湿を避け、換気の良い屋内で保管する。 容器を密閉して冷暗所で保管する。 保管時の温度は 5℃以下、35℃以上にならないようにする。 使用後は、皮張り、腐敗防止のため、密栓(または密閉)して速やかに使用する。 保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。 保管場所は、換気装置を設置する。
安全な容器包装材料	: 消防法及び国連危険物輸送に関する勧告で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

製品の管理濃度、許容濃度

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度 : 設定されていない

エチレン-酢酸ビニル共重合体の管理濃度、許容濃度

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH : 設定されていない

エチレングリコールの管理濃度、許容濃度

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH : TWA25ppm(V) , STEL50ppm(V) , 10mg/m³(I,H)

酢酸ビニルの管理濃度、許容濃度

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH : TWA10ppm , STEL15ppm

設備対策 : 取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。
蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、眼の洗浄や身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具	: 防塵マスク、簡易防塵マスク、防毒マスク(有機ガス用等)
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	: 保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状	: 粘稠な液体
色	: 乳白色
臭い	: 微臭
pH	: 4～6(pH メーター)
融点	: 0℃(水)
沸点	: 100℃(水)
引火点	: >100℃
爆発範囲(上限、下限)(g/m ³)	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度(20℃)	: データなし
比重	: 1.0～1.1(23℃)
溶解度	: 水で無限大に希釈可能
n-オクタノール/水分配係数:	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度(粘性率)	: 1300～2100mPa・s(23℃、BH 型、10rpm)

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 密閉状態で、冷暗所では安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 低温(5℃以下)及び高温(35℃以上)
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

製品の有害性情報

混合物の有害性情報 : 全ての項目について情報なし

エチレン-酢酸ビニル共重合体の有害性情報

有害性情報 : 全ての項目について情報なし

エチレングリコールの有害性情報

急性毒性(経口): : ラット LD₅₀ 4000～10200mg/kg(CICAD、初期リスク評価書)

急性毒性(経皮)	: ラット LD ₅₀ 10600mg/kg(CICAD、初期リスク評価書)
急性毒性(吸入：蒸気)	: ラット LD ₅₀ 200mg/m ³ /4hr(初期リスク評価書)
皮膚腐食性 / 刺激性	: ウサギを用いた皮膚刺激性試験で軽度の刺激性であった。 (CICAD、初期リスク評価書)
眼に対する重篤な損傷 / 眼刺激性	: ウサギを用いた眼刺激性試験でごく軽度の刺激性であった。 (CICAD、初期リスク評価書)
呼吸器感受性	: 情報なし
皮膚感受性：	: モルモットを用いた皮膚感受性試験で陰性であった。(SIDS)
生殖細胞変異原性	: ラットに経口投与した in vivo 優性致死試験で陰性であった。 (初期リスク評価書)
発がん性	: ACGIH の発がん性評価：A4(ヒトに対して発がん性物質として 分類できない物質)
生殖毒性	: 14 週間飲水投与したマウスを用いた連続交配試験で、1%群で 生存胎児数の減少、頭蓋異常等がみられた。 NOAEL は 0.5%(840mg/kg/日)。(初期リスク評価書)
特定標的臓器毒性(単回)	: ヒトで、意識障害、痙攣、昏迷状態、頻脈、血圧上昇、腎障害、 肺の軽度なうっ血等がみられた。(初期リスク評価書) ボランティアによる 55ppm の吸入暴露試験で吸入開始 1.5 分後 から喉及び上気道の痛みがあり、79ppm 以上では、痛みが非常 に激しく 1 分以上耐えられなかった。(初期リスク評価書)
特定標的臓器毒性(反復)	: 常に蒸気が発生している環境で約 2 年間作業していた労働者 で、意識喪失、リンパ球の増加、眼球振とうがみられた。 (環境リスク評価) ボランティアに 30 日間吸入させた試験で、144mg/m ³ 以上の 暴露で上気道に刺激等がみられた。NOAEL は 49mg/m ³ 。 (環境リスク評価)
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし
酢酸ビニルの有害性情報	
急性毒性(経口)	: ラット LD ₅₀ 2900mg/kg(環境リスク評価)、1600～3480mg/kg (有害性評価書)
急性毒性(経皮)	: ウサギ LD ₅₀ 2335～7470mg/kg(有害性評価書)
急性毒性(吸入：蒸気)	: ラット LD ₅₀ 11.4mg/L/4hr(環境リスク評価)、 3200～4490ppm/4hr(有害性評価書)
皮膚腐食性 / 刺激性	: ウサギを用いた皮膚刺激性試験で軽度の紅斑、浮腫等が みられた。(DFGMAK) 皮膚への連続的な接触で重度の刺激性または水疱形成が 見られた。(ECETOC)

眼に対する重篤な損傷 / 眼刺激性	: 本物質に直接接触したヒトで角膜熱傷がみられたが 48 時間以内に回復した。(有害性評価書) ウサギを用いた眼刺激性試験で、結膜の重度な浮腫等が見られたが 8 日後に消失した。(DFGMAK)
呼吸器感作性	: 情報なし
皮膚感作性	: 5 年間にわたる 21 人の労働者の医療記録から、本物質はアレルギー性皮膚炎の重要な誘導物質ではないことが示唆された。(ECETOC) モルモットを用いた皮膚感作性試験で陽性の反応が得られているが、擬陽性反応の可能性を排除できないので評価できない。(DFGMAK)
生殖細胞変異原性	: マウスに腹腔内投与し骨髄細胞を観察した in vivo 小核試験や姉妹染色分体交換試験で陽性であった。(有害性評価書) ラットに腹腔内投与し骨髄細胞を観察した染色体異常試験で陽性であった。(DFGMAK)
発がん性	: IARC の発がん性分類：グループ 2B(ヒトに対して発がん性がある可能性がある物質)。 ACGIH の発がん性分類：A3(ヒトへの関連性は不明であるが、動物実験で発がん性が確認された物質)
生殖毒性	: ラットを用いた飲水投与による 2 世代生殖毒性試験で雄の交尾率低下に伴う妊娠率のわずかな低下が見られた。NOAEL は 1000ppm。(有害性評価書) 妊娠 6～15 日のラットに吸入暴露させた試験で、母動物に肺のうっ血がみられる用量で、児に頭臀長短縮、骨化遅延等がみられた。NOAEL は 200ppm。(有害性評価書)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: ヒトのボランティアによる吸入暴露試験で、呼吸器に対する刺激性が認められた。(有害性評価書) ウサギを用いた吸入暴露試験において中枢神経系の抑制がみられた。(初期リスク評価書)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: ラットを用いた 2 年間の吸入暴露試験で、200ppm で鼻腔嗅上皮の扁平上皮化生と萎縮、基底細胞の過形成がみられた。(有害性評価書) マウスを用いた 13 週間の吸入暴露試験で、200ppm で巣状肺炎と鼻炎がみられた。(有害性評価書)
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

- 混合物の環境影響情報 : 全ての項目について情報なし
- 他の有害性 : 河川等に流入した場合、エマルション中の樹脂の粘着性の影響で呼吸困難が生じ魚類が死亡する場合がある。

エチレン-酢酸ビニル共重合体の環境影響情報

- 環境影響情報 : 全ての項目について情報なし

エチレングリコールの環境影響情報

- 生態毒性 : 魚類(ヒメダカ) $LC_{50}(96hr) > 100mg/L$ (初期リスク評価書)
 魚類(ニジマス) $NOEC(12day) 14692mg/L$ (初期リスク評価書)
 甲殻類(オオミジンコ) $LC_{50}(48hr) 14828mg/L$ 、
 $NOEC(21day) 100mg/L$ (初期リスク評価書)
 藻類(セテナストラム) $ErC_{50}(72hr) > 1000mg/L$ 、
 $NOEC(72hr) 1000mg/L$ (初期リスク評価書)
- 残留分/分解性 : 化審法に基づく 2 週間の生分解性試験で分解性の良好な物質と判定された。(初期リスク評価書)
- 生体蓄積性 : オクタノール/水分配係数 $\log Kow = -1.36$ (測定値) (初期リスク評価書)
- 土壤中の移動性 : 土壌吸着係数 $Koc = 1$ (計算値) (初期リスク評価書)
- オゾン層への有害性 : 情報なし

酢酸ビニルの環境影響情報

- 生態毒性 : 魚類(ヒメダカ) $LC_{50}(96hr) 2.39mg/L$ (初期リスク評価書)
 甲殻類(オオミジンコ) $EC_{50}(48hr) 9.22mg/L$ 、
 $NOEC(21day) 0.317mg/L$ (初期リスク評価書)
 藻類(セテナストラム) $ErC_{50}(72hr) 8.9mg/L$ 、
 $NOEC(72hr) 0.2mg/L$ (生態影響試験結果)
- 残留分/分解性 : 化審法に基づく 2 週間の生分解性試験で良分解性と判定された。(既存点検データ)
- 生体蓄積性 : オクタノール/水分配係数 $\log Pow = 0.73$ (測定値) (有害性評価書)
 $BCF = 3.2$ (計算値) (有害性評価書)
- 土壤中の移動性 : 土壌吸着係数 $Koc = 6$ (推定値) (有害性評価書)
- オゾン層への有害性 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

汚染容器及び包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 : 該当しない

国内規制

輸送上の注意 : 該当しない

その他の情報

緊急時応急措置指針番号 : 171 に準じた取り扱いを推奨する。

輸送又は輸送手段に関する特別な安全対策 : 運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。移送時にイエローカードの保持が必要である。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。(参考資料；日本エマルション工業会編「合成樹脂エマルションの輸送事故対策指針」)

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(第 57 条の 1、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9)

エチレングリコール

危険物・引火性の物(施行令別表第 1 第 4 号)

酢酸ビニル

名称等を通知すべき危険物及び有害性(第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9)

酢酸ビニル

エチレングリコール

PRTR 法 : 非該当

毒劇法 : 非該当

消防法 : 非該当

化審法 : 優先評価化学物質(法第 2 条第 5 項)

エチレングリコール

酢酸ビニル

大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質
(中央環境審議会第 9 次答申)

酢酸ビニル

	揮発性有機化合物(第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
	エチレングリコール
	酢酸ビニル
海洋汚染防止法	: 危険物(施行令別表第1の4)
	酢酸ビニル
	有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
	エチレングリコール
	酢酸ビニル
	エチレン-酢酸ビニル共重合体
	有害液体物質(Y類同等の物質)(環境省告示第148号第2号)
	エチレングリコール
特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法)	: 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの (平10三省告示1号)
	エチレングリコール
	酢酸ビニル

16. その他の情報

本 SDS は、JIS Z 7253 : 2012「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成したものであり、新しい知見によって改訂されることがあります。

本 SDS は必ずしも製品の安全性を保障するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性を持つ可能性があります。

取扱事業者は、本 SDS を参考として個々の取扱い、用途、用法などの実態に応じた安全対策を実施のうえ、お取扱ください。

参考文献：

化学物質の危険・有害便覧	(中央労働災害防止協会編)
12093の化学商品	(化学工業日報社)
知っておきたい職場の化学物質	(日本化学工業協会)
日本産衛学会 HP	
職場の安全サイト	
GHS 分類結果データベース	
原材料の SDS	
